

三原城城主 小早川隆景公の歴史

1563年～1576年

～第6回 隆景

このお話は三原城を築城した小早川隆景公の生涯を書いています。



VS

信長～

時は戦国時代、父親である毛利元就が中国地方を制覇してゆく中で、小早川隆景公は毛利両川の一翼として活躍しておりました。毛利家は防長(山口県全域)制覇を経て、勢力を九州にまで伸ばし豊前・豊後(北九州・大分県周辺)辺りまで拡大していました。そして、中国なつていた九州の領地を攻められてしまい、援軍に隆元と隆景を九州差し向けています。隆景は九州で戦いながら瀬戸内の水軍を動員し敵の退路を断つ作戦で、攻め込む敵を撤退させます。その後も再三攻められます。隆元・隆景はそのつど返り討ちにし、最後には敵を滅多打ちにすることで毛利領への進軍を断念させます。兄弟の活躍で中国地方制覇に集中できます。直り中国地方制覇を果たします。同時に毛利家の領土安定を目指し九州・四国の制圧に動き出しました。その頃、東では織田信長が勢力を伸ばしていました。信長は自信の領土を攻めてきました。そこで隆景をあたらせ、信長に反毛利勢力との和睦斡旋のお願いをしました。信長はこれを承諾し協力を約束するため、家来の羽柴秀吉(豊臣秀吉)に手紙と馬一頭を隆景に送るよう命じます。これが秀吉と隆景の最初の交渉になります。その後互いの関係は敵同士、また主従関係と三十年近く続くことになります。勢力を拡大していく元就ですが、一五七二(元亀二年)に病のため死んでしまいます。元春と隆景は毛利両川として輝元を助け毛利家を支え続けます。一時は協力を示した信長ですが、秀吉を中国地方制圧の総司令官に任命し、反毛利勢力の支援を続け徐々に毛利家と織田家は仲が悪くなっています。当時、信長は大阪にあります。一方で、石山本願寺を攻めており、石山本願寺の周りを囲み食料の搬入を断つ兵糧作戦を実行しています。元春・隆景・輝元は話し合い、石山本願寺を助けることで信長に反旗を翻す決断を下し、船で食糧の搬入を行なう作戦に出ます。隆景は一五七三年(天正元年)頃から三原城に居住することが多くなり、その三原城を拠点に毛利水軍の総指揮官として村上水軍や毛利・小早川水軍をまとめます。そして一五七六年(天正四年)七月に木津川の河口にて織田水軍でした。しかし、織田水軍は二〇〇隻程度だったと言われています。迎え撃つ織田水軍でしたが、多くの戦いで育て上げられた毛利家の連合水軍の前では、全く歯が立ちません。瞬く間に壊滅させられ毛利軍は堂々と石山本願寺へ食糧搬入を果たし西へ帰つてゆきました。



※挿絵 平成7年発行「小早川隆景」より引用

次号予告
戦国霸者に崩されそうになる毛利家、進撃してくる巨人に突如訪れる終焉、時代が大きく動く中で取った隆景の決断とは…次回 戦国の世を生きぬく者！

「やっぱもっさ」に賛同 みんなで三原を盛り上げよう！



三原を盛り上げたい！この思いをもって三原市でイラストレーターとしてご活躍されている大西佑理さん。

この度「やっぱもっさ」ではより良い紙面つくりのため、イラストを使った企画を検討していました。そういう中で大西さんのイラストに出会い一緒に三原をもっと盛り上げたいとの思いでご協力頂くこととなりました。8月号の本紙四コマ漫画から作画を担当して頂きます。左側に登場しているのは大西さんオリジナルキャラクター“タカカゲクン”です。こちらのキャラクター製作には三原を楽しく、タコやダルマに続く新しいイメージを発信してゆきたいとの思いで描かれています。これから“タカカゲクン”的な活躍にご期待下さい。



おおにし ゆり
大西佑理氏

三原市出身。エヒメアヤメ物語 デジタル紙芝居製作、平成27年度沼田東コミセン祭り イラスト担当など、現在も三原市でイラストレーターとして活躍中



やっぱもっさチャンネル

	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28
7:00	●						●
9:15			●	●	●	●	
11:15			●	●	●	●	
12:00	●	●					●
14:15			●	●	●	●	
18:15		●	●	●	●	●	
19:00	●						
20:00	●		●	●	●	●	
21:15		●	●	●	●	●	

MCAT

お問い合わせ先

一般社団法人 三原青年会議所

〒723-0052 三原市皆実4丁目8番1号 三原商工会議所内

一般社団法人三原青年会議所 事務局 宛

TEL(0848)63-3515 / FAX(0848)62-1141

お問合せ時間/平日(月～金)10:00～15:00

一般社団法人 三原青年会議所

公式ホームページはこちらをクリック↓↓

三原JC

検索



HPでは皆様のご意見を募集しております。